

# 【週刊タバコの正体】

Vol.43 第6話～第9話

2019/06 和歌山工業高校 奥田恭久

## ■Vol. 43

### (No. 590) 第6話 信じられない姿に

—タバコのせいで信じられない姿に...

左に映っているのは、フロリダで幸せに暮らしていた親子の写真です。撮影された1999年3月29日には、息子を片手で抱きあげた精悍な父親のブライアンでしたが、その直後の4月2日に肺がんを発病、それからたった2ヶ月後、下の写真のような姿となり6月3日に亡くなりました。5月10日に34歳になったばかりでした。

### (No. 591) 第7話 有害な副流煙

—施設を禁煙するのは受動喫煙が危険であるから...

タバコに火をつけるとその煙はあたり一面に漂います。下図のように喫煙者が吸込む煙（主流煙）、火の着いた先端から出る煙（副流煙）、吸込んだ後に吐き出す煙（呼出煙）が混ざり合っかなり広い範囲に拡散されます。だから、近くにいる人はその煙を吸われます。これが受動喫煙なのですが、じつは吸わされる煙は予想以上に有害である事を知っていますか。

副流煙に含まれる有害成分は主流煙より何倍も多いのですから受動喫煙はなぐさなければいけませんよね。

### (No. 592) 第8話 従業員の受動喫煙

—業務上タバコの煙を避けられない環境で仕事を...

他人のタバコの煙を吸わされる受動喫煙は予想以上に危険です。喫煙者が吸い込む主流煙に比べて火の着いた先端から出る副流煙の方がはるかに有害である事は前回紹介しましたね。では、どうして吸い込む煙より、先端のうっすら見える煙の方が有害なのでしょう。

下図に示す通り、吸い込んでいない時のタバコの先端の温度は500℃、対して吸い込んだ時は900℃になります。つまり吸い込んだ時は高熱で発ガン物質が分解されるうえに、スポンジ状のフィルターを通過するので、さらに有害成分が除去されます。ところが、副流煙は低温でくすぶっている不完全燃焼のような煙がフィルターなしで直接漂っているの、主流煙に比べて何倍も有害なわけです。という訳で、喫煙者が火の着いたタバコを手持っているだけで、あたり一面が有害物質で汚染されるのです。

そこで、そんな副流煙の被害をもろに受ける場面が下の写真です。喫煙可能な飲食店で胸元にセンサーを付けた従業員が接客した際の微小粒子量をグラフにすると、1時間に何度も受動喫煙を受けていることがわかります。

### (No. 593) 第9話 大事件

—タバコが原因で亡くなる人は毎年15万人...

「タバコは身体に悪い」ことは誰でも知っていますが、タバコが死亡の原因になっている事はあまり知られていません。下のグラフにあるように年間12万8900人の喫煙者が亡くなっています。さらに自分は吸っていないのに他人のタバコによる受動喫煙で亡くなる人が1万5000人もいます。合わせると毎年約14万人、一日あたり約400人もの人がタバコに命を奪われているのです。

日本のどこかで4分に1人のペースで亡くなっているなんて大事件...

## volume 43 2019 Apr-Jul 週刊 タバコの正体 Serial number 592 第8話

他人のタバコの煙を吸わされる受動喫煙は予想以上に危険です。喫煙者が吸い込む主流煙に比べて火の着いた先端から出る副流煙の方がはるかに有害である事は前回紹介しましたね。では、どうして吸い込む煙より、先端のうっすら見える煙の方が有害なのでしょう。

下図に示す通り、吸い込んでいない時のタバコの先端の温度は500℃、対して吸い込んだ時は900℃になります。つまり吸い込んだ時は高熱で発ガン物質が分解されるうえに、スポンジ状のフィルターを通過するので、さらに有害成分が除去されます。ところが、副流煙は低温でくすぶっている不完全燃焼のような煙がフィルターなしで直接漂っているの、主流煙に比べて何倍も有害なわけです。という訳で、喫煙者が火の着いたタバコを手持っているだけで、あたり一面が有害物質で汚染されるのです。

そこで、そんな副流煙の被害をもろに受ける場面が下の写真です。喫煙可能な飲食店で胸元にセンサーを付けた従業員が接客した際の微小粒子量をグラフにすると、1時間に何度も受動喫煙を受けていることがわかります。

こんな受動喫煙の被害もなぐさなければいけませんよね。

産業デザイン科 奥田 恭久



## volume 43 2019 Apr-Jul 週刊 タバコの正体 Serial number 593 第9話

「タバコは身体に悪い」ことは誰でも知っていますが、タバコが死亡の原因になっている事はあまり知られていません。下のグラフにあるように年間12万8900人の喫煙者が亡くなっています。さらに自分は吸っていないのに他人のタバコによる受動喫煙で亡くなる人が1万5000人もいます。合わせると毎年約14万人、一日あたり約400人もの人がタバコに命を奪われているのです。

日本のどこかで4分に1人のペースで亡くなっているなんて大事件だと思いませんか。

産業デザイン科 奥田 恭久



毎週火曜日発行



URL: [http://www.jascs.jp/truth\\_of\\_tobacco/truth\\_of\\_tobacco\\_index.html](http://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_index.html)

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。  
 ※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。  
 ※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

